

築地市場移転予定地豊洲のデータ隠し

豊洲の実験データの多くを隠していたのは、築地市場移転予算を都議会ですすためだった。石原慎太郎・東京都知事が、築地市場移転予定地の東京ガス工場跡地（江東区豊洲）で実施した土壌汚染処理実験のデータを隠し続けてきた理由が浮き彫りになりました。

ベンゼン濃度が環境基準の3・4倍の果です。

基準の4万3000倍 ヒ素が検出された地点の地点で採取した実験の初期値は基準以下だ 試料の初期値は基準の ったことは、実験その 2・7倍にしかすぎ もの信頼性を覆す結



都民に公開した汚染土壌処理実験施設＝4月24日、東京都江東区

覆った実験の信頼性 公正な立場で全面検証を

都は2月初旬から6

カ所約5000万円です。計8億3000万円。

が公文書の開示請求を行ったところ、都が開示した文書は、初期値など重要な項目はすべて墨塗りでした。

都が3月10日に発表した実験の中間報告は、猛毒物質のベンゼン、ヒ素、シアン化合物の3物質だけで、採取した土壌の汚染濃度（初期値）はすべて隠ぺいしたままでした。それにもかかわらず「確実に汚染物質を無害化できることが実証された」と、「安全宣言」を行ったのです。3月都議会に市場移転予算1281億円を提案し、議会で議決をえるためです。

市場移転予算を審議した3月都議会。日本共産党は再三、初期値の公表を迫りましたが、岡田至中央卸売市場長は公表を拒否し、「初期値はできるだけ早く出す」（3月11日）などと答弁したものの、その約束すらほとんど4カ月経過しても隠し続けたのです。

都の実験に疑問を持った日本共産党都議団

月末にかけて、市場移転予定地で、土壌や地下水の汚染処理実験を実施しました。今回の実験に要した費用は1

月末にかけて、市場移転予定地で、土壌や地下水の汚染処理実験を実施しました。今回の実験に要した費用は1

(岡部裕三)